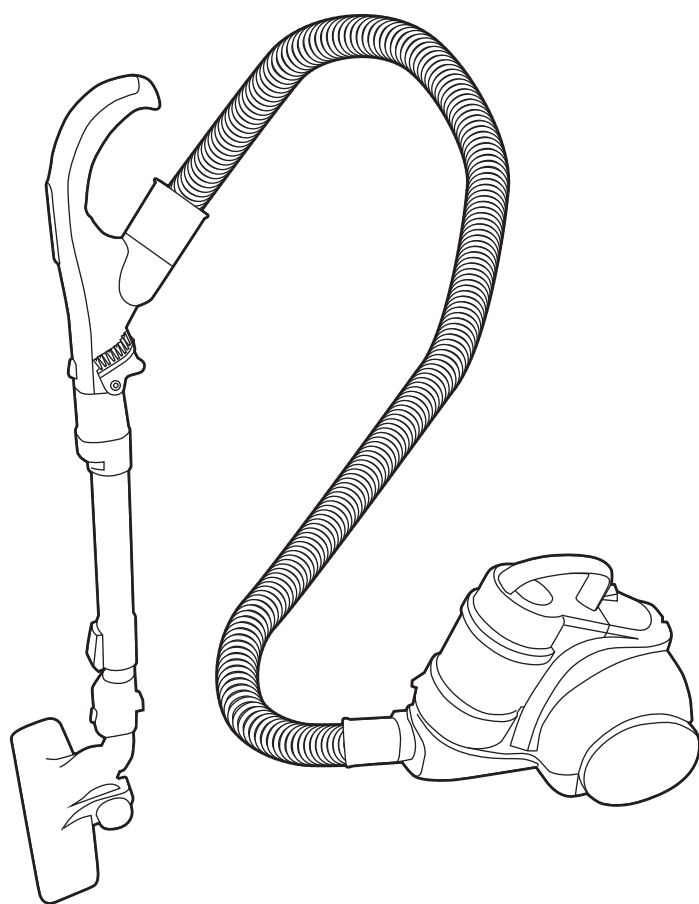


家庭用

サイクロン式クリーナー JC06CSM01

取扱説明書 (保証書付き)

このたびは「サイクロン式クリーナー」をお買い上げいただきありがとうございます。
この商品を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書の内容を十分にご理解されたうえで、記載の内容に従って正しくご使用ください。
また、一度お読みになった後も、いつでも読み返せるようお手元に置いて保管してください。
製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。ご了承ください。



もくじ

安全上のご注意	1
使用上のご注意	4
保管のしかた	4
各部のなまえ	5
組み立てかた	7
使いかた	8
ゴミの捨てかた	9
お手入れ	10
故障かな?と思ったら	14

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

 禁止 ⊘ は、してはいけない 「禁止」の内容です。	 一般的な禁止  水場での使用・保管禁止  分解禁止  接触禁止
 強制 ! は、必ず実行していただく 「強制」の内容です。	 必ず行う  電源プラグを抜く

 危険

 禁止 電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理にまげる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、マクセロンテクニカルセンターにご相談ください。	 禁止 本体や付属品は、分解、修理や改造を絶対に行わない 発火・感電・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・ショート・けがの原因になります。	 禁止 ・ストーブやガスコンロなどの熱源・火気のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所では、放置したり充電したりしない。 ・火の中に投入したり、加熱しない ・高いところから落とす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなど強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。 発熱・破裂・液漏れによって、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
 禁止 電源プラグをコンセントに長時間さし込んだままにしない 絶縁劣化による感電・火災・けがの原因になります。	 禁止 水しぶきのかかるところ（風呂場などの水回り）で使用しない 本体や充電スタンド、充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災・故障の原因になります。

 警告

 禁止 ホコリの多い場所や油煙の当たる場所に保管しない 発火・故障の原因となります。	 禁止 運転中に伸縮式パイプを取り付けたり、取り外したりしない けがの原因となります。
--	---

安全上のご注意(つづき)

警告

 電源プラグのほこりは定期的に拭き取る ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。	 以下の場所では使わない 火気の近く、高温多湿になるところ、油や油煙が発生するところ、引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナーなど)の近くなど ⇒吸い込むことで、火災の原因になります。
 ぬれているフィルター・ダストカップは使用しない 感電・発火の原因となります。	 電源プラグは根元まで確実にさし込む 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
 電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。	 運転中に電源プラグの抜き差しはしない 故障の原因となります。
 電源は、交流100Vのコンセントを単独で使用する タコ足配線などで定格を超えると、火災・感電の原因になります。	 子どもだけで使わせたり、乳幼児の届くところで使わない 感電・けがの原因になります。(さわる、なめる)
 本体の排気口やすき間に指などを入れない 感電・けがの原因となります。	 屋外では使用しない 発火・故障・けがの原因となります。
 電源プラグを抜きさしするときは、必ず電源を切る 感電・発火・火災の原因になります。	 人やペットに向けて使用しない けが・事故の原因となります。
 お手入れの際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 感電・発火・火災・故障の原因となります。	 異常・故障時には、ただちに使用を中止する 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 ＜異常・故障例＞ ・本体が変形したり、異常に熱い。 ・電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ・電源プラグや電源コードを動かすと運転したり、しなかったりする。 ・異常なおいや音、振動がする。 ・ビリビリと電気を感じる。 ・「電源スイッチ」を切り替えても運転しない。 ・運転中、時々止まる。 ・その他の異常がある。 ※マクセンテクニカルセンターにご相談ください。
 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。	
 本体・電源プラグは水洗いしない(水洗いできる部品は覗く) 感電・発火・故障の原因となります。	

注意

 火気・暖房機器のそばで使用しない 掃除機本体の排気により、暖房器具の炎が大きくなり火災の原因になります。	 本製品を絶対に業務用に使用しない 本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。
 掃除以外の目的では使用しない けが・故障の原因となります。	 排気口、吸込口をふさいだ状態で運転しない。 加熱による変形・故障・火災の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜く プラグ、コードの破損により、感電やショート、発火の原因となります。	 禁止	本体の排気口やすき間に金属物や異物を入れない 感電・けが・故障の原因となります。
 禁止	本製品を引きずったり家具や壁にぶつけない 床面などを傷つける原因となります。	 禁止	倒れやすいもの、壊れやすいものの近くで 使用しない 財産の損害や倒れてけが・故障の原因となります。 また、床面を傷つける原因となります。
 禁止	ふとん圧縮袋など吸込口に負担がかかる使用はしない けが・故障の原因となります。	 禁止	ノズルなどの本製品付属品と消耗部品を本製品以外に使用しない けが・故障の原因となります。
 禁止	ノズルなどの付属品と消耗部品は本製品専用の付属品以外を使用しない けが・故障の原因となります。	 禁止	吸込口を床や家具に強く押し付けたり、フロアノズルを横方向に引きずらない 床面や家具を傷つける原因となります。
 禁止	本体にのったり、重いものをのせたり、強い衝撃をあたえない けが・事故・発火・故障の原因となります。	 禁止	排気口から出る風を長時間当てない 低温やけどをするおそれがあります。
 禁止	使用中や使用直後はお手入れをしない けが・やけど・事故の原因となります。	 禁止	ぬれた手で使用しない ショート・感電の原因となります。
 禁止	吸込口やフィルターにゴミなどが詰まったままで長時間使わない 発火・火災・故障の原因となります。	 指示	すきまノズルを使用するときは、伸縮式パイプを取り外した状態で使用する けが・故障の原因となります。
 指示	コンセントの周りは清潔にする 絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。	 指示	電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買い上げの販売店、またはマクスゼンテクニカルセンターへ連絡してください。

使用上のご注意

●ゴミはこまめに捨ててください

フィルター・フロアノズル・すきまノズルに詰まり、故障の原因となります。

●ダストカップ・フィルターのお手入れは定期的に行ってください。

吸引力の低下や故障の原因となります。

●本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。

発火、故障の原因となります。

●天災などの不可抗力による損害、不当な修理・改造による故障などに対する保証はいたしかねます。

●次のようなものを吸わない

フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

・水や液体、濡れたごみなど ・大量の砂、小石など ・大きなごみ ・粉末状のもの ・刃物、針、割れ物(ガラス、陶器など) ・ビニール袋

●小石・砂などがある場所は掃除しないでください。

故障・異臭の原因となります。

●本体の先で吸わないでください。

必ずフロアノズルまたは、付属のすきまノズルを接続してください。先端の摩耗などによる接触不良や破損の原因となります。

→狭所はすきまノズルをご利用ください。

●吸込口や排気口をふさいだまま使わないでください。

故障の原因となります。

●廃棄について

商品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの取り決めに従ってください。

保管のしかた

●各部のお手入れを行い、水洗いしたダストカップ・フィルターは水をよく切って十分に陰干しで乾燥してください。

ぬれたまま保管すると、感電・発火・故障の原因となります。

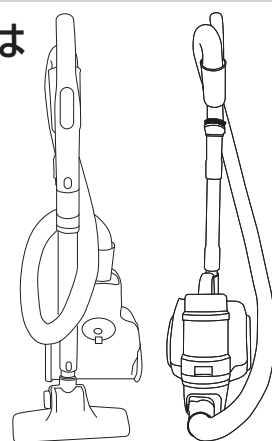
●電源コードを収納し、平らな安定した状態で保管してください。

電源コードの収納のしかたは「収納のしかた(9ページ)」をご参照ください。

●次の場所には保管しないでください。

・直射日光の当たる場所 ・高温多湿になる場所 ・結露する場所

●子供の手の届くところに保管しないでください。



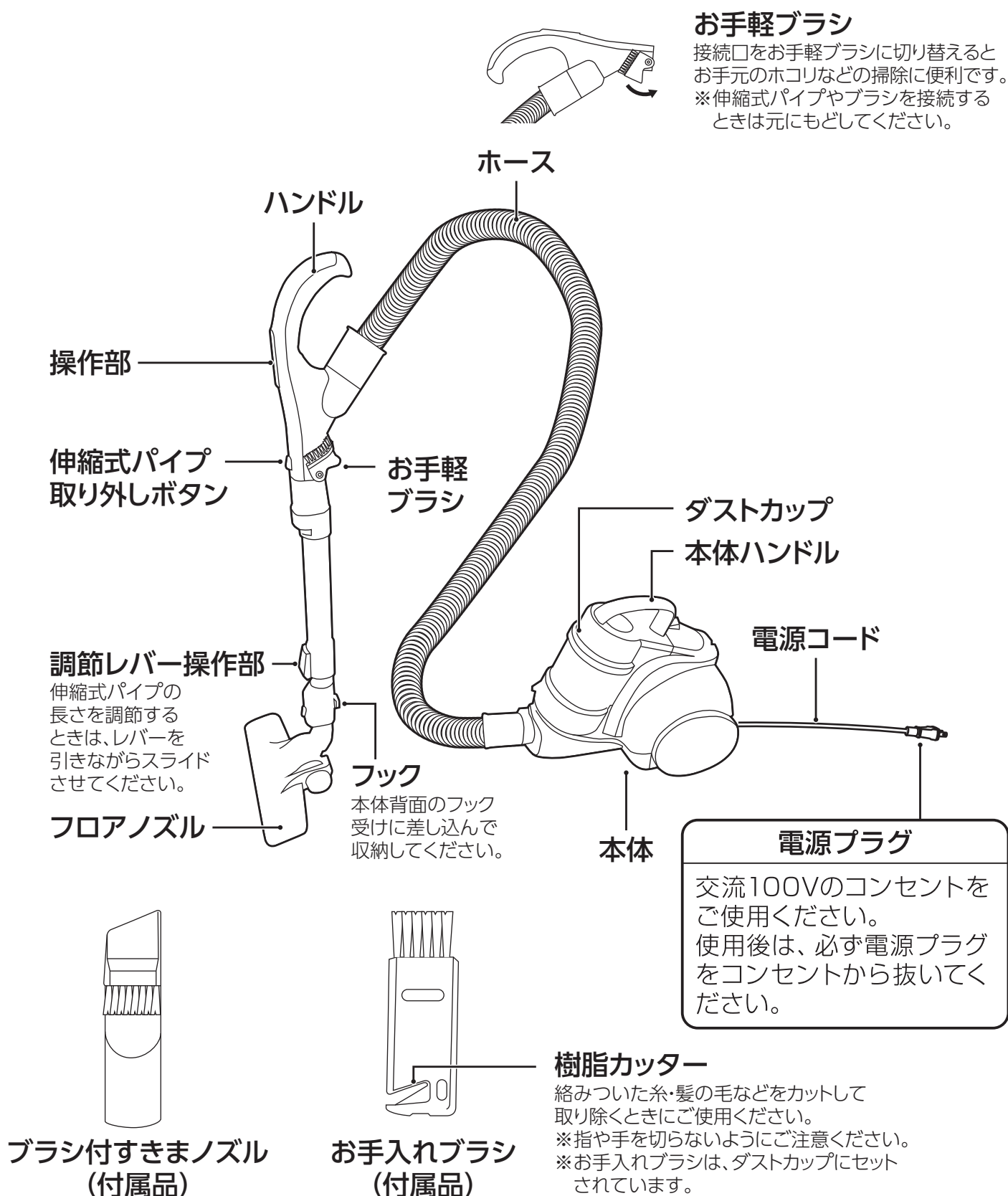
免責事項について

○地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

○本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた損害、および、逸失利益などに関しまして、当社は一切の責任を負いません。

○取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

各部のなまえ



お願い

- 印字部分はアルコールで拭かないでください。印字が消える場合があります。

各部のなまえ(つづき)

ホース/伸縮式パイプ

水洗い不可

操作部

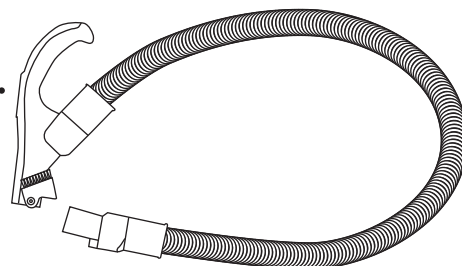


電源入ボタン

押すと下記の吸引力で運転します。
強……「強」で吸引します。
標準……「標準」で吸引します。
弱……「弱」で吸引します。

電源切ボタン

押すと電源が切れます。



本体

水洗い不可

排気口フィルター
(消耗部品)

ダストカップ
接続口

接続口

※ダストカップを外した状態です。

ダストカップ
取り外しボタン

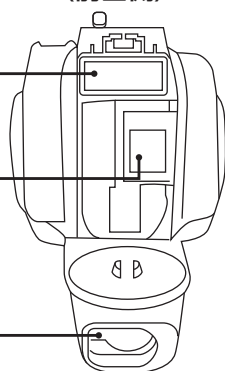
電源コード
巻き取りボタン

フック受け

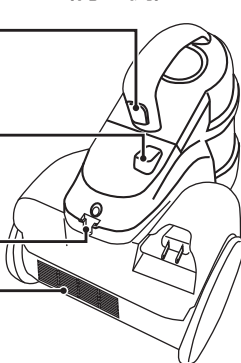
排気口

※フロアノズルのフックを差し込んで収納してください。

(前面側)



(背面側)



ダストカップ

水洗い可能

ダストカップ
取り外しレバー

ダストカップ
上蓋(消耗部品)

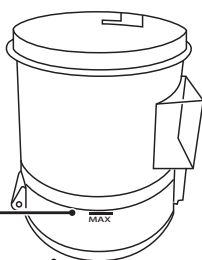
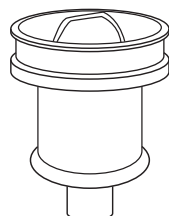
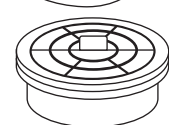
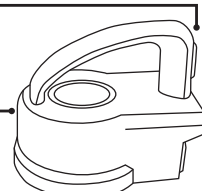
排気フィルター
(消耗部品)

メッシュフィルター
(消耗部品)

ゴミ捨てライン
ダストカップ下蓋

※ダストカップ内部にたまったゴミは、ご使用後は捨ててください。

※分解方法・組み立て方法(11ページ参照)



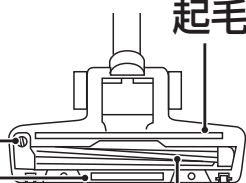
フロアノズル

水洗い不可

ブラシカバー
起毛布

回転ブラシ(消耗部品)

起毛布



消耗部品

消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、マクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。

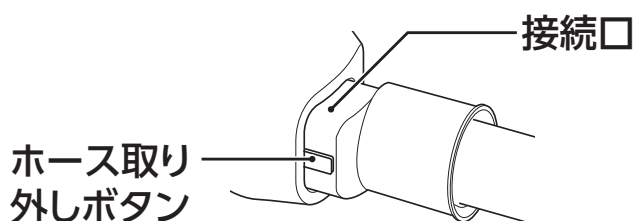
組み立てかた

お願い

- ホースを踏みつけたり、激しく引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。
- 本体を持ち上げる前に、ダストカップ部が本体に確実に取り付けられていることを確認してください。
- 本体を運ぶときは、ダストカップ取り外しボタンに触れないでください。ダストカップと本体が外れて本体が落下してけがや故障の原因となります。

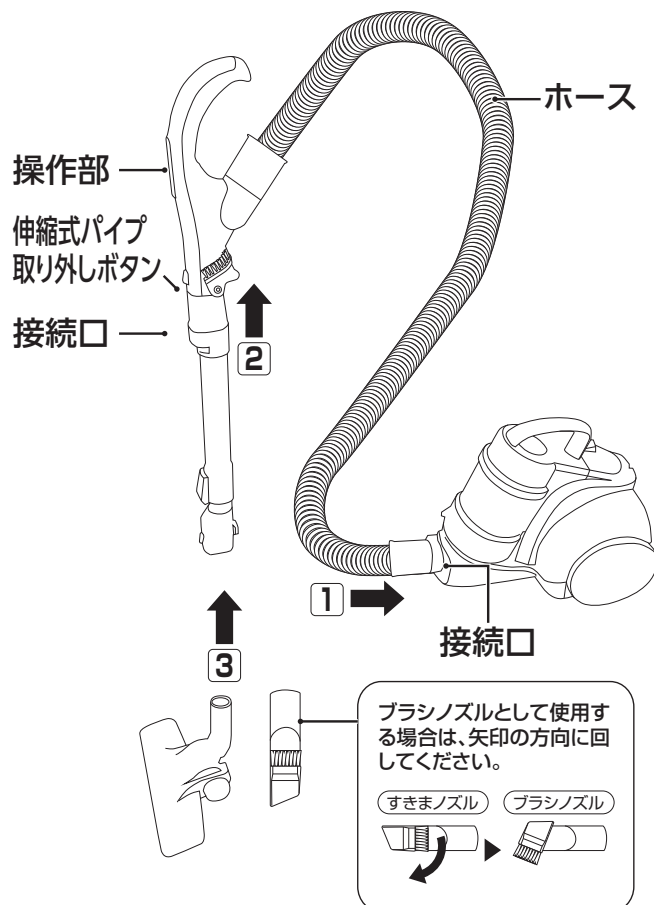
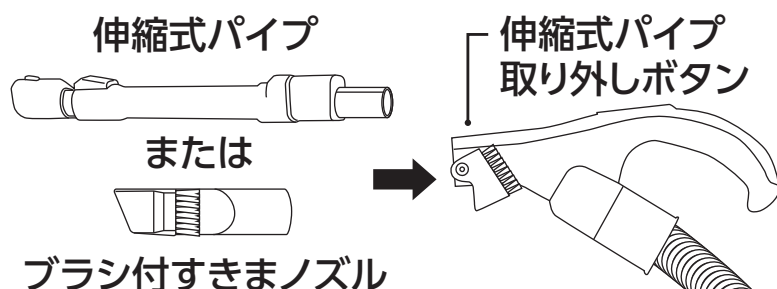
1 ホースの接続口を、本体の接続口に確実に接続する

- 取り付けるときはホースを本体の接続口の電極に合わせて「カチッ」と音が出るまでしっかりと差し込んでください。
- 取り外すときは、ホース取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。



2 伸縮式パイプ、または付属のブラシ付すきまノズルを操作部の接続口に確実に接続する

※取り外す時は、伸縮式パイプ取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。



ブラシノズルとして使用する場合は、矢印の方向に回してください。



3 フロアノズル、または付属のブラシ付すきまノズルを伸縮式パイプに確実に接続する

※フロアノズルを取り外す時は、伸縮式パイプ取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。

掃除する場所に合わせて、フロアノズルとすきまノズルを使い分ける

フロアノズル ▶ ●マット ●じゅうたん・畳 ●フローリングなど

すきまノズル ▶ ●サッシの溝 ●部屋の隅や手の届かないところ ●家具・小物などのすき間など

ブラシノズル ▶ ●畳や床の間など ●ソファや椅子など ●テーブルや机の上・小物など

お願い

- 回転ブラシにゴミなどがからみついたまま長時間使用しないでください。
- 掃除する時は、力を入れず、畳の目やフローリングの木目にそって軽くゆっくり動かしてください。強く押し付けると床面や家具に傷をつける原因となります。
- ピアノなどの光沢のある場所に使用しないでください。傷がつくおそれがあります。

使いかた

お願い

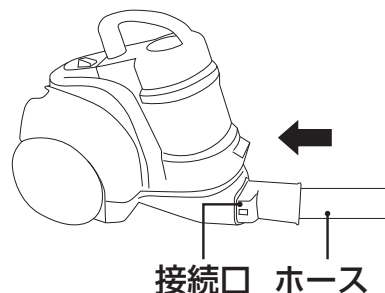
- フィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。「お手入れのしかた(10ページ)参照」
- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。吸込口やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- 運転中は必ずフィルターを取り付けてご使用ください。
- 運転中は必ずフロアノズルまたは、ブラシ付すきまノズルを取り付けてご使用ください。
- 吸込口がふさがれたときは、すぐに運転を停止してください。
- ダストカップのゴミはこまめに捨ててください。ダストカップにゴミを溜めたまま使用しつづけると、吸引力の低下や故障の原因となります。
- フィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。「お手入れの仕方(10ページ)」
- 持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜き、必ずハンドルまたは、本体ハンドルを持ってください。ホースや伸縮式パイプを持つと、落下・破損・けがの原因となります。

1 本体の接続口にホースが確実に取り付けられていることを確認する(7ページ)参照

- 伸縮式パイプの長さ調節レバーをスライドして、好みの長さに調節してください。

ご注意

- 運転中は長さ調節レバーを操作しないでください。

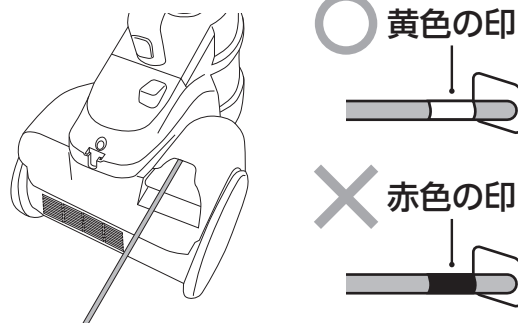


2 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源コードは黄色の印まで引き出してください。

ご注意

- 電源コードを引き出すときは、ゆっくり水平に引き出してください。また赤い印以上引き出さないでください。故障の原因となります。



3 ハンドルをしっかりと持ち、「電源入ボタン」(強・標準・弱)を押す

- 電源が入り運転を開始します。

※運転中は、絶対にダストカップを取り外さないでください。
※ノズルの取り付け・取り外しは必ず電源を切ってから行ってください。



電源入ボタン

押すと下記の吸引力で運転します。
強……「強」で吸引します。
標準……「標準」で吸引します。
弱……「弱」で吸引します。

4 掃除が終了したら「電源切ボタン」を押して電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

- 電源が切れ運転が停止します。

※コンセントにさしたまま放置しないでください。
※電源プラグは、必ず本体の電源を切ってから抜いてください。



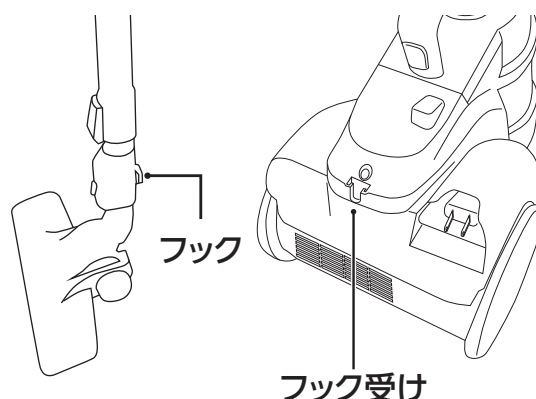
電源切ボタン

押すと電源が切れます。

使いかた(つづき)

5 掃除機を収納する

- ①「電源コード巻き取りボタン」を押し、電源コードを巻き取る。
- ②伸縮式パイプを縮め、フロアノズルのフックを本体側面のフック受けに差し込み収納する。

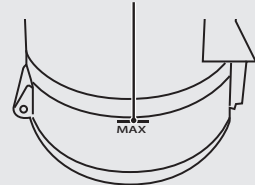


ゴミの捨てかた

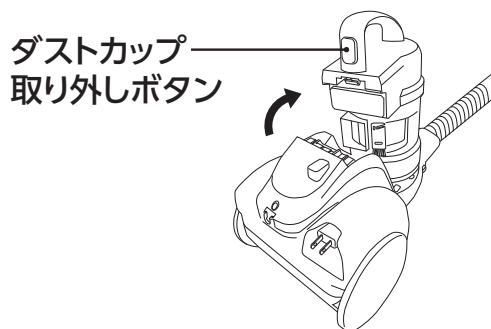
お願い

- ゴミを捨てるときは電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的にダストカップのゴミの量を確認し、いっぱいになる前に捨ててください。
- ダストカップ内部に溜まったゴミは、ご使用のたびに捨ててください。
- 運転中は絶対に「ダストカップ取り外しボタン」を押さないでください。
- ダストカップの「ゴミすてライン(MAX)」以上にゴミをためないでください。吸引力の低下や故障の原因となります。(右図参照)

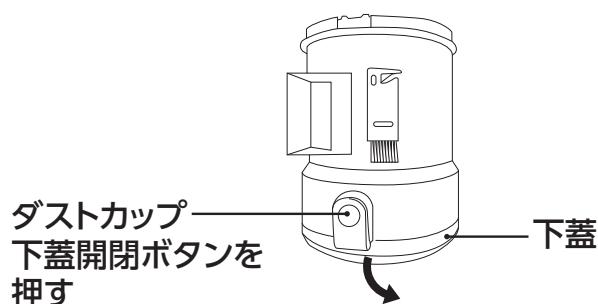
ゴミすてライン



1 「ダストカップ取り外しボタン」を押しながらダストカップ部を取り外す

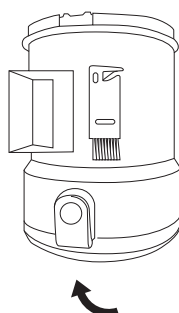


2 「ダストカップ下蓋開閉ボタン」を押し、ゴミを捨てる



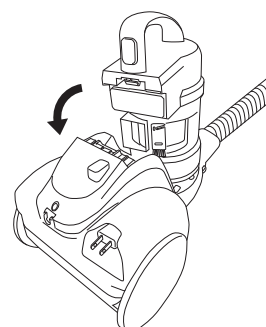
3 ダストカップ下蓋を閉める

- 「カチッ」と音になるまでしっかりと閉めてください。



4 ダストカップを本体に取り付ける

- ダストカップ開閉ボタンを下側にして「カチッ」と音になるまで確実に取り付けてください。



お手入れ

お願い

- お手入れを行うときは必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 次の部品は、絶対に水につけたり水洗いしないでください。感電・故障の原因となります。
・本体 ・ホース ・伸縮式パイプ ・フロアノズル ・回転ブラシ ・ブラシ付すきまノズル
- お手入れの際にシンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使わないでください。
変色・変形・変質・破損し、故障の原因となります。
- ダストカップや吸気口、フロアノズルに汚れが付着したまま使用すると、吸込力が弱くなったり、モーターが故障する原因となります。定期的にお手入れを行ってください。
- ダストカップはこまめにお手入れを行ってください。
- 水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火・故障の原因となります。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因となります。
- 粉末や砂などを吸い込むと、各フィルターが目詰まりをおこす場合があります。粉末や砂などを吸込んだときは、すぐにお手入れを行ってください。
- 印字部はアルコールで拭かないでください。印字が消えるおそれがあります。

消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、マクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。

ダストカップのお手入れ

- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
- 吸気口・排気口についたホコリは取り除いてください。ホコリがついたまま使用すると故障の原因となります。
- 吸気フィルターは取り外してお手入れを行ってください。
- フロアノズル内部のゴミは、細い物で押し出してください。



1 ダストカップを取り外し、ゴミを捨てる

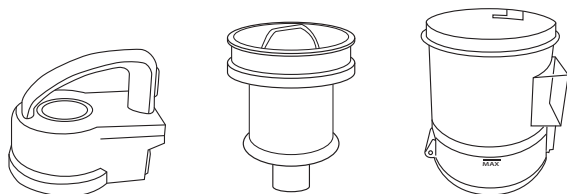
(9ページ参照)

2 各部品のお手入れを行う

ダストカップの分解と組み立てを行ってください。(11ページ参照)

- 各部品を軽くたたき、付着しているゴミや汚れをあらかじめ取り除いてください。
- 細かい汚れは付属のお手入れブラシで取り除いてください。(お手入れブラシはダストカップに収納されています。)

- 水道水で汚れを洗い流してください。



ダストカップ上蓋 (消耗部品) メッシュフィルター (消耗部品) ダストカップ

- 水道水で汚れを洗い流してください。

※つけ洗いをしないでください。
※ブラシなどを使用して洗わないでください。
フィルターが破損するおそれがあります。



排気フィルター (消耗部品)

3 ダストカップを本体に取り付ける

ダストカップ開閉ボタンを下側にして「カチッ」と音になるまで確実に取り付けてください。(9ページ参照)



警告 ● 各部品が十分乾燥していることを確認し、ぬれている部品は絶対に使わないでください。
感電・発火・故障の原因となります。

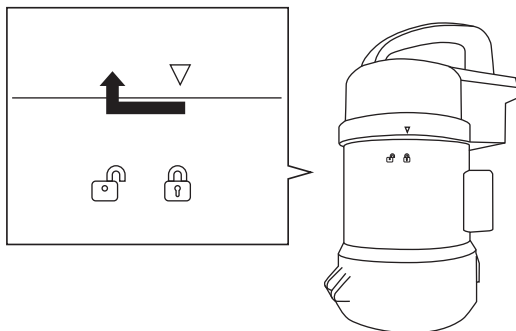
お手入れ(つづき)

ダストカップの分解方法/組立方法

■ 分解方法

1 ダストカップ上蓋を回して取り外す

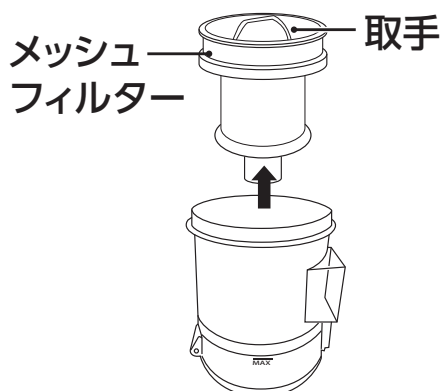
- ダストカップ上蓋の「▼」をダストカップの「☞」印方向に回してダストカップ上蓋を取り外します。



2 排気フィルターを取り出す



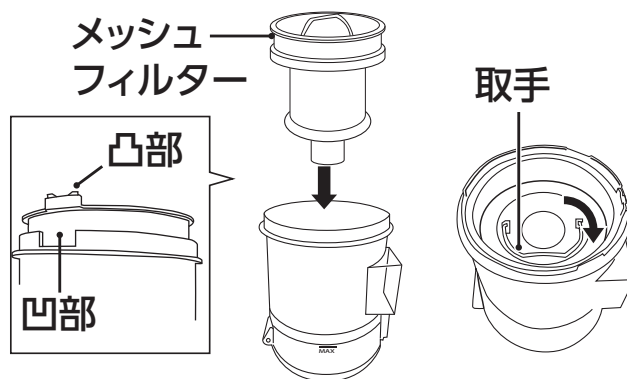
3 取手を持ってメッシュフィルターを引き抜く



■ 組立方法

1 メッシュフィルターをダストカップに取り付ける

- ダストカップの凹にメッシュフィルターの凸部を合わせて取り付けてください。

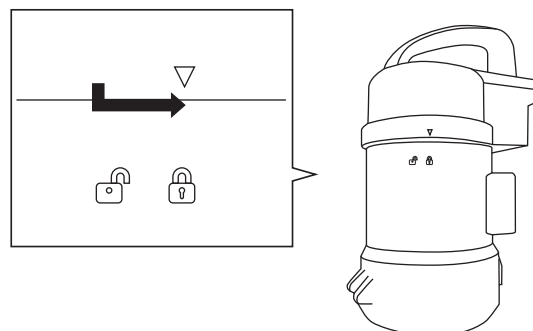


2 排気フィルターをメッシュフィルターに確実に取り付ける



3 ダストカップ上蓋を回して確実に取り付ける

- ダストカップ上蓋の「▼」をダストカップの「☞」印方向に回してダストカップ上蓋をダストカップに確実に取り付けます。



お手入れ(つづき)

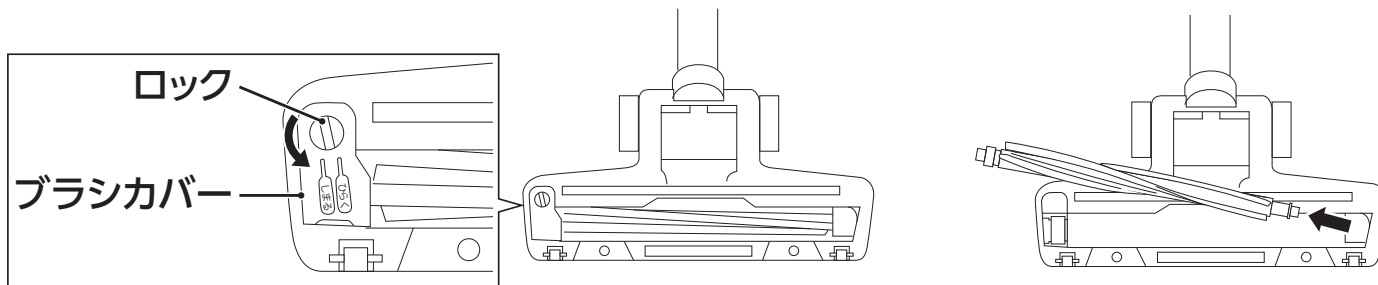
回転ブラシのお手入れ

- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
 - フロアノズル本体、回転ブラシは水洗いしないでください。
 - 回転ブラシはフロアノズルから取り外しが可能です。回転ブラシやローラーに糸くずや髪の毛などが絡みついたときは、付属のお手入れブラシの樹脂カッターでカットしてください。
- ※ゴミがからみついたままお使いになると、フロアノズルにゴミがつまり吸引力が弱くなり、故障の原因となります。



1 ブラシカバーのロックを「ひらく」側へ回して取り外す

- ブラシカバーのロックは、マイナスドライバーなどを使用して回してください。



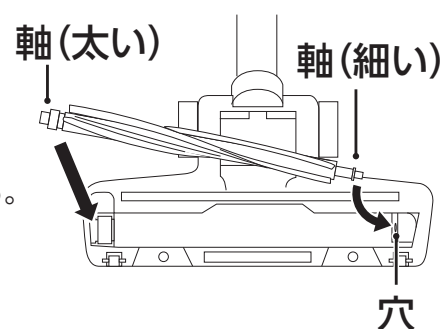
2 各部品のお手入れを行う

- 各部品を軽くたたき、付着しているゴミや汚れをあらかじめ取り除いてください。
- 細かい汚れは付属のお手入れブラシで取り除いてください。(お手入れブラシはダストカップに収納されています。)

3 回転ブラシをフロアノズルに取り付ける

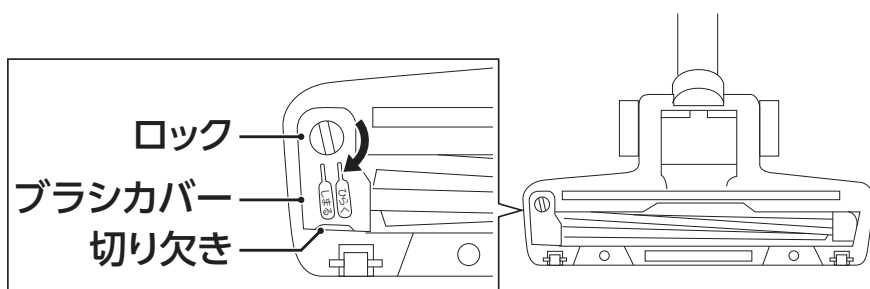
※回転ブラシの左右の向きを確認してください。

- ① 回転ブラシの軸の細い方をフロアノズルの穴に差し込む。
- ② 回転ブラシのもう片方の太い軸をブラシカバー側の溝にはめる。



4 ブラシカバーのをフロアノズルに取り付け ロックを「しめる」側へ回してセットします

- ブラシカバーを取り付けるときは、切り欠き側からセットしてください。



お手入れ(つづき)

本体・ホース・伸縮式パイプ・フロアノズル・ブラシ付すきまノズルのお手入れ

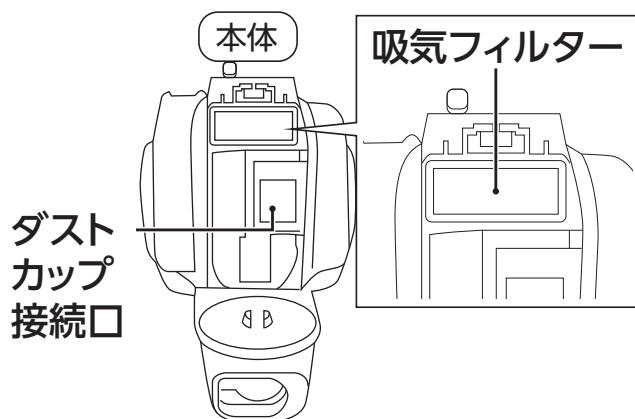
- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。



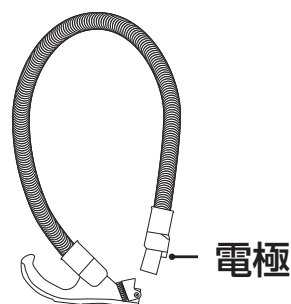
- 吸気口・接続口についたホコリは取り除いてください。ホコリがついたまま使用すると故障の原因となります。
- 吸気フィルターは取り外してお手入れを行ってください。
- 本体・ホースは柔らかい布で拭きとってください



警告 ● 本体・電源プラグ・ホース・伸縮式パイプ・フロアノズル・ブラシ付すきまノズルを水に浸けたり、丸洗いしないでください。火災・感電・ショート・故障の原因となります。



ホース



※電極についた汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

伸縮式パイプ



フロアノズル



ブラシ付すきまノズル



※ブラシについた汚れも取り除いてください。

電源プラグのお手入れ

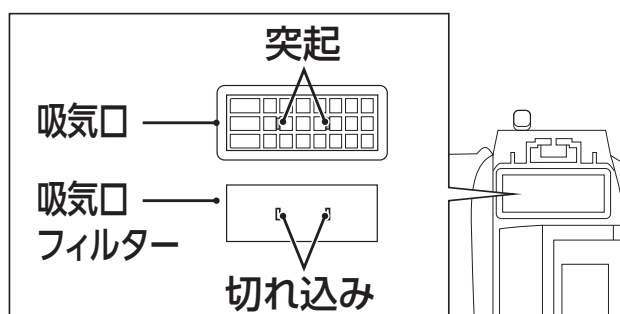
- 電源プラグについた汚れは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。

吸気口フィルターのお手入れ

- 吸気口フィルターを取り外しホコリを落としてください。汚れが落ちにくいときは、軽く水洗いをしてください。洗った後は十分に乾燥させてください。
- 取り付けるときは、吸気口フィルターの切れ込みを吸気口の2ヶ所の突起に差し込んでください。

お願い

- 吸気口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症 状	確認してください	処置の方法	参照 ページ
電源スイッチの「電源入」側を押しても運転しない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか?	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	8
運転音が大きくなった 吸引力が弱くなった	ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか?	ゴミを捨ててください	9
	ノズルにゴミが詰まっていますか?	詰まっているゴミを取り除いてください。	12・13
	吸込口にゴミが詰まっていますか?	詰まっているゴミを取り除いてください。	12・13
	ノズルが本体のノズル接続口にしっかりさし込まれていますか?	ノズルを本体のノズル接続口に確実にさし込んでください。	7
	フィルター・吸気口フィルター・排気フィルターが汚れていませんか?	お手入れを行ってください。	10・11・13
	ダストカップ部が確実に取り付けられていますか?	ダストカップ部を本体に確実に取り付けてください。	9
	モーターの加熱を防ぐため、安全装置が働いていませんか	①電源プラグを抜く ②安全装置が働いた原因を調べる ➡ダストカップ内部(各フィルター)のゴミを取り除く。 ➡ノズルに詰まっているゴミを取り除く。 ➡連続吸引すると、本体の詰まり、モーター負荷、過熱故障の原因となります。 長時間の連続吸引を避けてください。 ③1時間以上待つ (モーターが冷えて、安全装置が解除される)	-
排気がにおう	フィルターが汚れていませんか?	お手入れを行ってください。	10
	ダストカップ部を水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか?	乾燥が不十分な状態で使用すると、匂いが発生する原因となります。 十分に乾燥させてください。	10
	フィルターを水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか?	乾燥が不十分な状態で使用すると、匂いが発生する原因となります。 十分に乾燥させてください。	10
ゴミが飛び散ってしまう	ダストカップ部が確実に取り付けられていますか?	ダストカップ部を本体に確実に取り付けてください。	9
	フィルターが正しく取り付けられていますか?	フィルターを正しく取り付けください。	11
	ゴミの逆流防止弁がないため、吸込口を上方向に向けないでください。		-
ダストカップが閉まらない	フィルターが正しく取り付けられていますか?	ダストカップ部を本体に確実に取り付けてください。	9
使用中、本体が温かい	少し温かくなりますが故障ではありません。		-

仕様

品名	サイクロン式クリーナー
品番	JC06CSM01
定格電圧	AC100V、50-60Hz
消費電力	1000W
吸込仕事率	200W
集塵容量	0.55L
騒音値 環境温度 5～35℃ 使用環境温度 5～35℃	73dB ※ 工場検査データによるもの 周辺環境により変わります。
吸込方式	サイクロン式
コードの長さ	4.0m
製品寸法	322×224×283（奥行×幅×高さmm）
製品質量	4.3kg
梱包重量	5.5kg
付属品	ブラシ付すきまノズル、お手入れブラシ、取扱説明書
消耗部品	ダストカップ上蓋、排気口フィルター 排気フィルター、メッシュフィルター

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※この製品は、海外ではご使用になれません。For USE IN JAPAN ONLY

保証とアフターサービス

基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター

TEL:0570-099-455 mail: mtc@maxzen.jp

受付時間 9:00~17:00

(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

○お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
○利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。



愛情点検

長年ご使用の掃除機の点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電しないことがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- こげくさい匂いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

保証とアフターサービス(つづき)

保証書

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証書			
製品名	サイクロン式クリーナー		ご購入履歴を印刷いただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	JC06CSM01		
お買い上げ日	年 月 日		
故障の状況	できるだけ具体的に		
接続している機器			
お名前			
ご住所			販売店
電話番号			

保証規定

- 1.修理はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
- 2.ご贈答、ご転居の際は、ご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・ご購入後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・保証書の提示がない場合。
- ・保証書にお客様名、ご購入日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合(本製品は一般家庭用であり業務用ではありません)
- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークションで落札された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 5.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

memo

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MAXZEN

マクスゼン株式会社

受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

TEL:0570-099-455

mail : mtc@maxzen.jp

○本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。

○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。

○本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。

○本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。